

## 越境EC(電子商取引)活用事業 オンラインセミナー開催のご案内

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、海外展示会への出展や現地での営業活動が制限されるなか、インターネット上での商取引の機会を提供するオンラインプラットフォームが、新たな販路開拓の手段として注目されています。

秋田県貿易促進協会では、県内企業の皆様を対象に「オンラインを活用した商取引セミナー」を開催します。本セミナーは、中国向け越境EC(BtoC)と海外企業とのオンラインマッチング(BtoB)について、具体的な事例を交えながら詳しくご紹介します。また、秋田県からは越境EC等に活用できる補助金についてご説明します。

この機会にぜひご参加ください。

### ■名称

「オンラインを活用した商取引セミナー」

### ■テーマ(2部構成)

#### ①越境ECを活用した中国販路開拓セミナー(BtoC)

日時: 令和3年7月27日(火) 13:30~15:00

内容: Inagora社が運営する中国向け越境ECアプリ「豌豆公主(ワンドウ)」を活用した販路開拓について、越境ECの基礎や、事例を交えながらご説明します。

(InagoraのURL) <https://www.inagora.com/>

#### ②オンライン海外展示会を活用した販路開拓セミナー(BtoB)

日時: 令和3年7月28日(水) 13:30~15:00

内容: 世界190以上の国と地域を対象としている世界最大級のオンライン展示会サイト「Alibaba.com」を活用した海外販路開拓について、事例を交えながらご説明します。

(Alibaba.comのURL) <https://www.alibaba.com/>

※どちらか一方のみの参加も可能です。

※希望者には、講師とのオンライン個別相談を実施する予定です。

■開催方法 オンラインセミナー (Zoomウェビナー)

■定員 100名(先着順、秋田県に事業所を有する企業・団体)

■参加費 無料

※詳細・お申込方法については当協会ホームページをご覧ください。

<http://www.a-trade.or.jp/article/16393746.html>



### ◆今後実施・参加を予定している事業等

#### ・米国プロモーション活動

4月~随時 米国消費者向け「秋田県酒蔵ウェビナー」

9月中旬 日本酒講習会「WSET SAKE Level13」

11月頃 日本酒バイヤー・専門家等の招聘

#### ・シンガポールバイヤー招聘

10月頃 食品バイヤー招聘

#### ・台湾輸出促進

11月頃 秋田県主催「台湾オンライン商談会」へ連携協力

#### ・意見要望活動

8月頃 国土交通省への港湾整備促進要望活動

(関係機関との連携実施)

秋田の貿易ビジネスをサポートします  
**ATPA 一般社団法人 秋田県貿易促進協会**

〒010-0951

秋田県秋田市山王2丁目1-40 田口ビル1階

電話 018(896)7366 FAX 018(896)7367 Email [info@a-trade.or.jp](mailto:info@a-trade.or.jp) ホームページ <http://a-trade.or.jp/>

ATPA

一般社団法人  
秋田県貿易促進協会  
Akita Trade Promotion Association

# Newsletter

第57号

2021年7月発行

## 令和3年度定時総会開催



齊藤健悦会長

6月18日、秋田ホテルにおいて、会員24名出席(ほか委任状提出者91名)のもと、令和3年度定時総会が開催されました。昨年同様、新型コロナウイルス感染症が拡大している情勢を踏まえ、出席者の安全と感染拡大防止の観点から、規模縮小、時間短縮で実施しました。

開会に当たり齊藤会長は、会員、関係機関等への日頃の感謝を述べるとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模縮小しての開催となったことを報告のうえ、今年度もこれまで築き上げ

たネットワークを活かしながら、行政や関係機関と連携し、コロナ禍の難局を乗り越え、秋田県の貿易促進に向け全力で取り組むとの決意を述べました。

その後、議案審議に移り、令和2年度の事業報告と決算報告、令和3年度の事業計画と予算、顧問参与委嘱の同意の5議案は、出席者全員の賛同を得て、満場一致で承認されました。また、コロナ禍の影響を受けた退会会員が多かったことも報告されています。

今年度も、新型コロナウイルス感染症が速やかに収束しなければ、計画どおりの事業実施が困難な状況も想定しなくてはなりません。その際は、国内外の情勢を見極めながら、できる範囲での事業遂行に向け、柔軟な対応を心掛けるつもりです。

なお、定時総会終了後に行われる情報交換、相互交流の場としての懇親会は、昨年に引き続き中止としました。来年こそは、多くの会員皆様と笑顔で懇談できることを願っています。



定時総会の様子(秋田ホテル 飛翔の間)

## 令和2年度の事業実績

### ・シンガポールバイヤー招聘

バイヤー招聘は中止としましたが、輸出支援として県内酒蔵を紹介し、1社で取引成立に繋がりました。

### ・台湾バイヤー招聘フォローアップ

出展を予定していた現地展示会は開催が見送りとなりましたが、秋田県、秋田銀行、台日産業連携推進オフィスが開催した「秋田台湾オンライン商談会」に連携協力し、参加企業の推薦、連絡調整、フォロー等を行いました。一部商談は継続しています。

【実施日】令和3年2月2日

【参加者】当協会推薦2社(ソーラーLED街路灯、漆器) 全体では県内9社、台湾10社

### ・米国プロモーション活動

当初予定していた現地市場調査とバイヤー招聘は見送り、国内で開催可能な事業のみ実施しました。

①国内有識者を招いての県内酒蔵3社視察

【実施日】令和2年11月9日~11月10日

### ②国内有識者、県内酒蔵との意見交換会

【実施日】令和2年11月10日(秋田ビューホテル)

【参加者】13名

### ③日本酒講座「WSET Sake Level11」

【実施日】令和2年11月11日(秋田ビューホテル)

【参加者】12名

### ④オンライン意見交換会

【実施日】令和3年2月16日

【参加者】14名

(米国輸入業者2社2名、県内酒蔵5社7名、関係機関5名)

⑤米国日本酒専門誌「SAKE TODAY」に、県内観光PR記事と酒蔵広告を掲載

### ・越境EC(電子商取引)活用

当初予定していた海外EC企業や国内商社等のバイヤー招聘、商談会の開催は見送り、越境ECに関するセミナー開催を検討しましたが、年度内は実施できませんでした。

### ・ベトナム経済交流

ベトナムヴィンフック省企業協会との覚書(2019年11月締結)にもとづき、ベトナムでの商談会や本県へのバイヤー招聘等を予定していましたが、実施を見送りました。

### 有望県産品輸出促進事業 米国プロモーション活動

## 秋田県酒蔵ウェビナーの開催

米国有数の日本食材卸会社「ミューチャルトレーディング社」ならびに現地日本酒スクール「Sake School of America」と連携し、米国での県産日本酒のプロモーションとして、消費者を対象としたオンラインセミナー(ウェビナー)を開催しました。

本ウェビナーは4月からこれまで計3回、毎回1つの酒蔵に焦点を当てて開催してきました。地理、気候・風土、歴史、酒造りのこだわり(米、水、麹造り、酒母等)などを紹介するとともに、現在米国

で購入可能な銘柄や、これから新たに販売を予定している銘柄について、味や製法などの特徴、相性がいい料理などを説明し、商品への理解を深めていただくことで、販売促進に繋げることを目指しています。

視聴者からの質問には、原料となる酒米や酵母の種類、醸造方法の特徴など、専門的な内容も多く、海外の愛好家の日本酒に対する知識が深まっているのを感じました。欧米の日本酒愛好家は、日本酒の味だけではなく、ワインのように

産地による特徴や製法についても熱心に勉強する方が多いようです。今後、欧米での販路拡大を目指すうえで、そのようなお客様への対応も重要になると思われます。

当協会では昨年度より継続している「米国プロモーション活動」の一環として、日本酒講座「WSET SAKE Level3」を今年9月に開催する予定です。正式なご案内は後日、当協会メールマガジンやホームページに掲載します。関心のある方はぜひご参加ください。



左：ウェビナーの様子

右：Sake School of America校長 上野俊男氏

## 秋田港整備促進 国及び県への要望活動と意見交換

4月23日、齊藤会長、大島副会長、児玉副会長、水澤専務理事が、国土交通省東北整備局秋田港湾事務所及び秋田県建設部を訪問し、秋田港整備促進を要望しました。

昨年は、要望活動直前に新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言が全国に拡大されたため、急遽中止となり、2年ぶりの実施となりました。

それぞれの訪問先で、齊藤会長が要望の趣旨を説明したのち、国の港湾事務所では渡部秀幸所長に、県建設部では佐藤秀治部長に要望書を手交し、意見交換を行いました。

要望書では、秋田港が環日本海の交流拠点として一層発展するよう、貿易の拡大のための利便性の向上をはじめ、シーアンドレール構想の推進や、防災拠点、エネルギー供給基

地など、総合的な拠点機能を有する港湾としての整備促進に加え、令和11年度完成を予定し事業が開始された秋田港アクセス道路の早期整備についても要望しています。

渡部所長からは、中国やロシアなど対岸の発展を秋田港から取り込んでいくことが本県の発展に必要であり、港の安全安心を確保するため引き続き防波堤の改修、港内静穏度の向上に取り組んでいく、などのコメントをいただきました。

また、佐藤部長からは、秋田港への洋上風力発電設備設置を契機に関連企業が盛んになることへの期待や、秋田港アクセス道路については、県政発展のため重要な道路として優先的に整備を進めていく、などのコメントをいただきました。



上：国土交通省秋田港湾事務所を訪問

下：秋田県建設部へ要望書を提出

## 北都銀行

### タイ・バンコク駐在員事務所のご紹介

北都銀行 バンコク駐在員事務所  
所長 佐藤 孝弘

北都銀行では、2012年より提携行であるタイ/カシコン銀行へトレニーを派遣、駐在員事務所開設に向けたマーケティングを実施し、2014年7月31日に東北地銀初となるバンコク駐在員事務所を開設しました。以降、各種情報収集及び発信、タイ進出の支援、貿易取引支援、交流人口の拡大支援等に取り組んできました。

開設当初は、タイ・バンコクにおいて「秋田」の知名度は皆無であったものの、秋田県庁及び県内自治体、取引先企業などと連携し各種事業を実施することで、「秋田」の認知度が向上してきていると感じます。

タイは東南アジアの物流のハブとなっており、自動車産業を中心として多くの日系企業が進出しています。

東南アジアを結ぶ東西経済回廊(ミャンマー/ヤンゴン-タイ-ラオス-ベトナム)や南部経済回廊(ミャンマー/ダウエー-タイ/バンコク-カンボジア-ベトナム)などインフラが整備されれば、更なる発展が期待されています。

### 事務所の主な取り組み

#### ①秋田県産品の販路拡大のサポート

事務所開設以前は秋田県産品は数点しかありませんでしたが、現在では県産酒・秋田牛を中心に常時流通しています。2019年度は県産品13品のほか、ハタハタや県産ぶどうの初輸入のサポートも実施しました。

#### ②観光及び教育交流人口の拡大のサポート

バンコクにおいて秋田県及び県内自治体の観光PRの調整及びサポート、また、現地旅行会社と連携し秋田へ向けた教育旅行の組成などを実施しています。バンコク市内で竿燈祭りを実演したり、秋田県内を舞台にしたドラマ撮影を調整し秋田県の観光プロモーションを行っています。

#### ③東京オリンピック・パラリンピック事前合宿地誘致のサポート

タイバドミントンチームの美郷町事前合宿とタイボッチャ及びパラ陸上チームの大館事前合宿誘致のサポートを実施しました。基本合意締結以降、双方を往来した交流が続いています。



タイへの輸入をサポートしたりんご(紅あかり)

タイは2021年4月以降、新型コロナウイルスの感染が爆発的に拡大しています(第三波)。2020年3月26日に発令された非常事態宣言は現在も継続しており、タイは1年以上非常事態宣言下にあります。タイ保健省が発表している6月15日現在の累計感染者数は202,264人、累計死者数は1,485人となっており、1日の感染者は2,000人超で推移しています。規制強化も継続中で、飲食店や観光関連の業態は厳しい環境が続いています。

#### ■タイ・バンコク駐在員事務所

所在地

952 Ramaland Bld., 13fl., Rama4 Rd.  
Suriyawongse, Bangrak, Bangkok 10500

<お問合せ先>

北都銀行営業推進部地方創生室

秋田市中通3-1-41

TEL. 018(837)1701



事務所があるラマランドビル